

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	03 成人教育
事務事業名	05	社会教育事業	
根拠法令・例規等		社会教育法	
問合先		担当課(室)	生涯学習課
		職・氏名	生涯学習係長 波多野 靖成
		電話	0869-64-1841

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	社会教育・生涯学習関係団体や熟年世代及び次世代を担う青少年等
目的(何のために)	自らの実生活に即した幅広い学習ができる環境の整備と社会教育及び生涯学習振興の気運を醸成する。
行政活動(どのような方法で)	社会教育委員の会議に社会教育及び生涯学習施策の方針等を諮問するとともに委員からの提言を諸施策に反映させる。また、社会教育指導員を中心に諸施策を推進する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが自らの実生活に即した幅広い学習に取り組み、心豊かで生きがいのある地域社会を構築する。

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
社会教育委員の会議実施回数	回	3	3	3
社会教育指導員活動事業	人	1	1	1
教育の日関連事業参加者数	人	763	782	387
成人式参加者数	人	364	356	325
事業費				
直接事業費		3,800	3,037	2,205
必要人員人件費	千円	0.70人 7,400	0.32人 2,590	0.34人 2,996
事業費		11,200	5,627	5,201
財源				
国				
県				
支				
出				
金				
受				
益				
者				
負				
担				
比				
率	%	11,200	5,627	5,201

結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
成人式参加者数	説明	活動コストに対する成人式への参加者数の推移		
結果指標値	人	364	356	325
対前年比	%	-	97.8%	91.3%
活動コスト	円	795,000	1,355,000	1,866,000
単位当たりコスト	円	2,184	3,806	5,742
成人式参加率	説明	成人式参加者数/住民基本台帳対象者数の推移		
結果指標値	%	80	80	76
対前年比	%	-	100.0%	97.5%
活動コスト	円			
単位当たりコスト	円			

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
成人式参加割合	目標値(A)	90%	90%	90%	90
	実績値(B)	80%	80%	78%	到達目標年度
	達成率(B/A)	88.9%	88.9%	86.7%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
成人式参加者数/住民基本台帳対象者数の推移					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	団塊世代を取り込む生涯学習事業展開を実施する必要がある。特に施策については社会教育委員の会議に諮問する(社会教育)
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識 低コストで効率性の高い事業実施のあり方を課内で検討する。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況										
目標値	結果指標量①	350	結果指標量②	90	成果指標量	90				
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了			
説明	市民参画の新しい成人式の在り方を見直し検討していく。									

総合評価		評価区分<A~E>	C
大半の新成人にとっては同窓会程度の意識しかもたれていないため、市民参画の感動をもたらす新しい形の成人式を検討する。			

平成22年度以降の方向性・内容									
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了		
説明	20年度に取り入れた恩師のビデオ上映が好評のため、委託料を削減し、よりソフトな面を強化した事業とする。								
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果					
有効性		ソフト面と広報活動の充実により参加率を上げる	22年度	新成人の式典へ参加する意識の改革					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。